

ウ. 整理資源に係る退職給付引当金

国家公務員共済年金のうち整理資源に係る引当金については、将来給付見込額の割引現在価値を計上している。

エ. 遺族補償年金に係る引当金

遺族補償年金に係る引当金については、支給率×平均給与×割引率を乗じて算出し計上している。

(5) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

①消費税等の会計処理方法

税込方式によっている。

2. 重要な会計方針の変更

<会計方針の処理の原則又は手続の変更>

①物品の計上範囲の変更

従来、物品については、取得価格 50 万円以上の重要物品を資産計上する処理を行っていたが、本年度より取得価格 5 万円以上の物品を資産として計上することとした。

この変更は、取得価格 5 万円以上の物品につき網羅的に管理を行っているためである。

なお、この変更により本年度その他資産負債差額の増減が 13,133 百万円増加している。

②貸倒引当金の計上基準の変更

従来、貸倒引当金については、過去 5 年間の貸倒実績率に基づく方法により計上していたが、本年度より、債権を徵収停止債権と履行期限到来債権に区分し、徵収停止債権について全額、履行期限到来債権について 50% を回収不能見込額として見積もり、貸倒見積額を計上する方法に変更した。この変更は「省庁別財務諸類の作成指針IV1(2)⑭」の改訂によるものである。

③「出資金」のうち市場価格のないものの計上方法について

従来、「出資金」のうち市場価格のないものについては、出資金額をもって貸借対照表価額としていたが、「省庁別財務書類の作成について」（平成 16 年 6 月 17 日 財政制度等審議会）の一部改訂に伴い、本年度より国有財産台帳価格をもって貸借対照表価額とし、国有財産台帳価格の改定に係る評価差額については、洗い替え方式により、資産・負債差額増減計算書において「資産評価差額」として計上する方法に変更した。

この変更により、本年度の貸借対照表において出資金が 227,138 百万円増加し、資産・負債差額が同額増加している。また、本年度の資産・負債差額増減計算書において資産評価差額が 227,138 百万円増加している。

3. 偶発債務

係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの（平成 18 年度末現在）

（単位：百万円）

訴訟の略称	事件番号	請求金額	訴訟の概要
中国残留孤児集団訴訟	札幌地裁平成 15 年(ワ)第 2636 号 外 49 件	73,557	帰国・定住施策等の不作為（中国残留邦人等）として損害賠償を請求したもの。（衆議院、法務省、外務省、文部科学省、文化庁及び国土交通省と共に）
フィブリノゲン製剤訴訟	東京地裁平成 14 年(ワ)第 22773 号 外 22 件	9,317	出産時の止血目的などに使用された血液製剤により C 型肝炎ウイルスに感染したとして損害賠償を請求したもの。

訴訟の略称	事件番号	請求金額	訴訟の概要
各損害賠償等、合祀中止等控訴事件	東京高裁平成18年(ネ)第3198号	4,864	国が靖国神社と一体となって合祀をしたとして、民族的・宗教的人格権が侵害され、また、憲法上の政教分離原則に違反すること等を理由とする慰謝料支払及び謝罪文交付を請求したもの。
原爆症認定申請却下処分取消等請求事件	大阪高裁平成18年(行コ)第58号 外146件	828	医療認定申請却下処分の取消及び損害賠償を請求したもの。
手術・診療治療に対する医療訴訟	甲府地裁平成14年(リ)第312号	810	舌癌再発下顎全摘術後に身体障害が発生したとして、患者が損害賠償を請求したもの。
石綿国家賠償請求事件(第一次)	大阪地裁平成18年(リ)第5235号	244	規制制定・監督権限の不行使による損害賠償を請求したもの。
石綿国家賠償請求事件(第二次)	大阪地裁平成18年(リ)第10633号	239	規制制定・監督権限の不行使による損害賠償を請求したもの。
第二次大戦戦没犠牲者合祀絶止等請求事件	東京地裁平成19年(リ)第4657号	238	戦没者に関する情報の告知の撤回、原告に対する損害賠償及び謝罪文の交付等を請求したもの。 また、戦没者の戦死の事実の報告、その懈怠による損害賠償を請求したもの。
手術・診療治療に対する医療訴訟	大阪地裁平成15年(リ)第4492号 大阪高裁平成19年(ネ)第38号	150	脳動静脈奇形の治療の際の過失により後遺障害が発生したとして、患者が損害賠償を請求したもの。
イレッサ訴訟	東京地裁平成16年(リ)第25016号 東京地裁平成18年(リ)第2108号 大阪地裁平成16年(リ)第7990号 大阪地裁平成16年(リ)第207号 大阪地裁平成17年(リ)第3935号 大阪地裁平成17年(リ)第7426号	148	肺癌治療薬「イレッサ錠250」の副作用により間質性肺炎を発症又は死亡したとして損害賠償を請求したもの。
損害賠償請求事件	大阪地裁平成14年(リ)第7614号 大阪高裁平成16年(ネ)第3560号 大阪高裁平成19年(ネ)第85号 大阪高裁平成19年(ネ受)第103号	140	看護師の死亡について、遺族が損害賠償を請求したもの。
手術・診療治療に対する医療訴訟	東京地裁平成17年(リ)第18088号	132	腫瘍摘出術後に障害が後遺したのは、頸髄神經根の損傷に起因するものである等として、患者が損害賠償を請求したもの。
手術・診療治療に対する医療訴訟	東京地裁平成17年(リ)第23042号	131	水頭症のVAシャント術の失敗を繰り返した上、呼吸困難の状況に対し適切な処置をしなかったため死亡した等として、患者の遺族が損害賠償を請求したもの。
手術・診療治療に対する医療訴訟	東京地裁平成18年(リ)第12530号	100	嗄声治療の右披裂軟骨内転術を受けた数時間後に低酸素症に陥りその後死亡したことについて、看護・管理体制不十分であったためである等として、患者の遺族が損害賠償を請求したもの。
玉川里佳裁判	大阪高裁平成19年(ネ)第973号	100	臨床心理技術者関係の厚生科学研究で、研究班の議事録を厚生省ホームページに公開したところ、その中の事例の一つが原告のことである、と